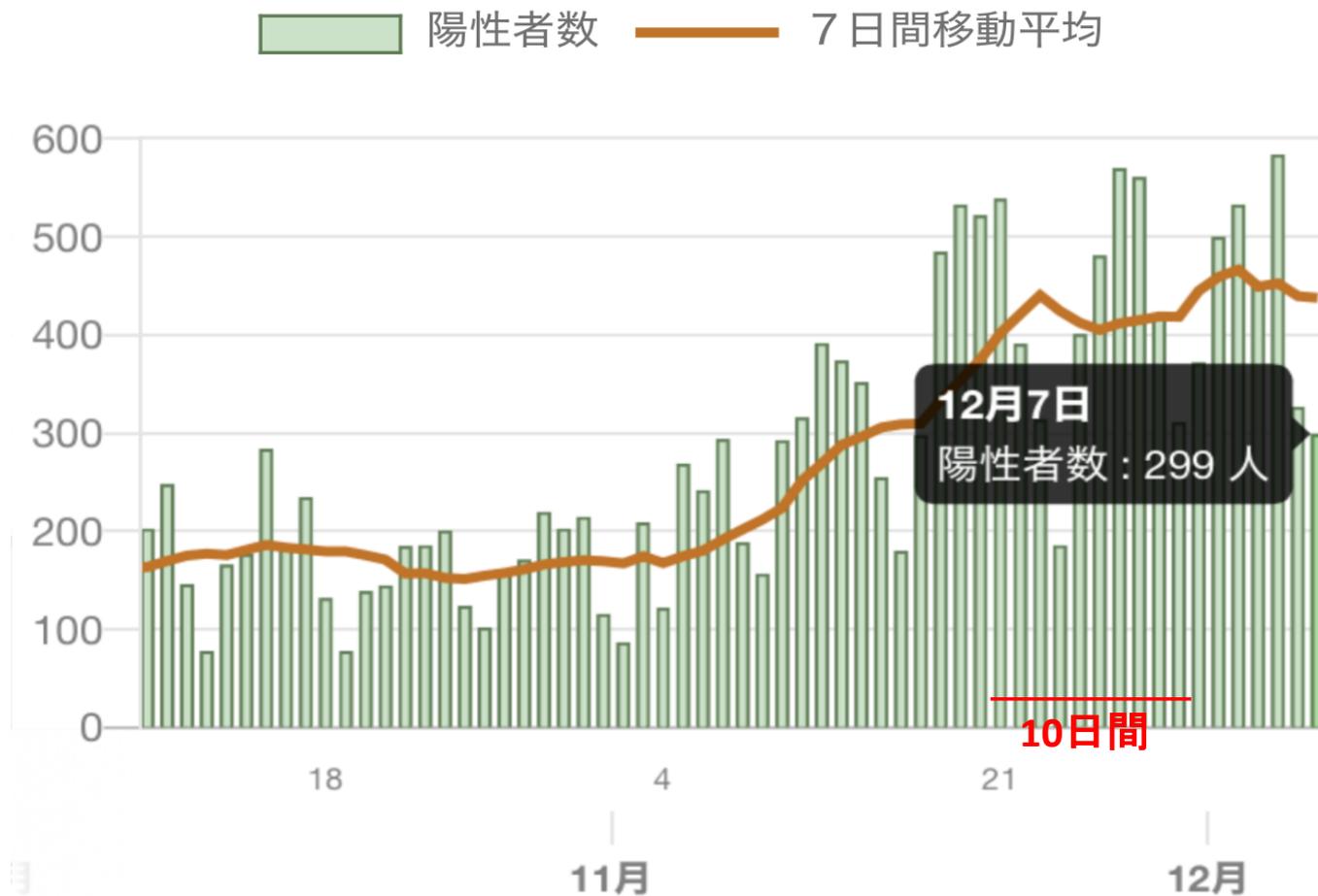


# 1. 個人の感染予防を 今一度徹底してください！ ～マスク・手洗い・三密回避・換気～

⇒ 都民の皆さんの努力・行動の効果(新規感染者数減少)  
が出るのは、約10日後です  
(感染してから症状が出るまで平均5.2日)

# 東京都医師会記者会見2020年12月8日(火)



## 2.情報弱者 (日本語・英語以外を母国語とする外国人など) に対する情報提供と 医療へのアクセス確保を！

⇒都内では外国人居住率でその地区の検査陽性率に格差あり。  
新たな感染源となる可能性も

## 【感染状況】①-8 新規陽性者数（届出保健所別、11/24～11/30）



上記は、各保健所管内の医療機関等で陽性が判明した数であり、当該地域の住民とは限らない。

# 3. 医療崩壊は救急・入院医療の 現場(病院)から始まる

⇒ 病院医療を守る！

- ・ 全ての医療機関がそれぞれの役割を果たす
- ・ 都民の皆さんも適切な受療行動を  
(受診する前に必ず電話、  
過度な心配からの不適切な行動等控える)

## 2 発熱患者の診療等に必要な医療機関数について

最大 65,768件/日の検査需要から試算

### 1) 約3000の医療機関\* (外来診療医療機関に指定) で対応

⇒ 1医療機関あたり、平均で22件/日の発熱患者（インフル検査）に対応する必要があり、負担が大

### 2) 各医療機関での診療・検査件数で試算

<参考（国の補助金）>

・1日最大20名の診療体制を助成する想定

① 65,768件/日 ÷ 15 ⇒ **必要数：4,385施設**

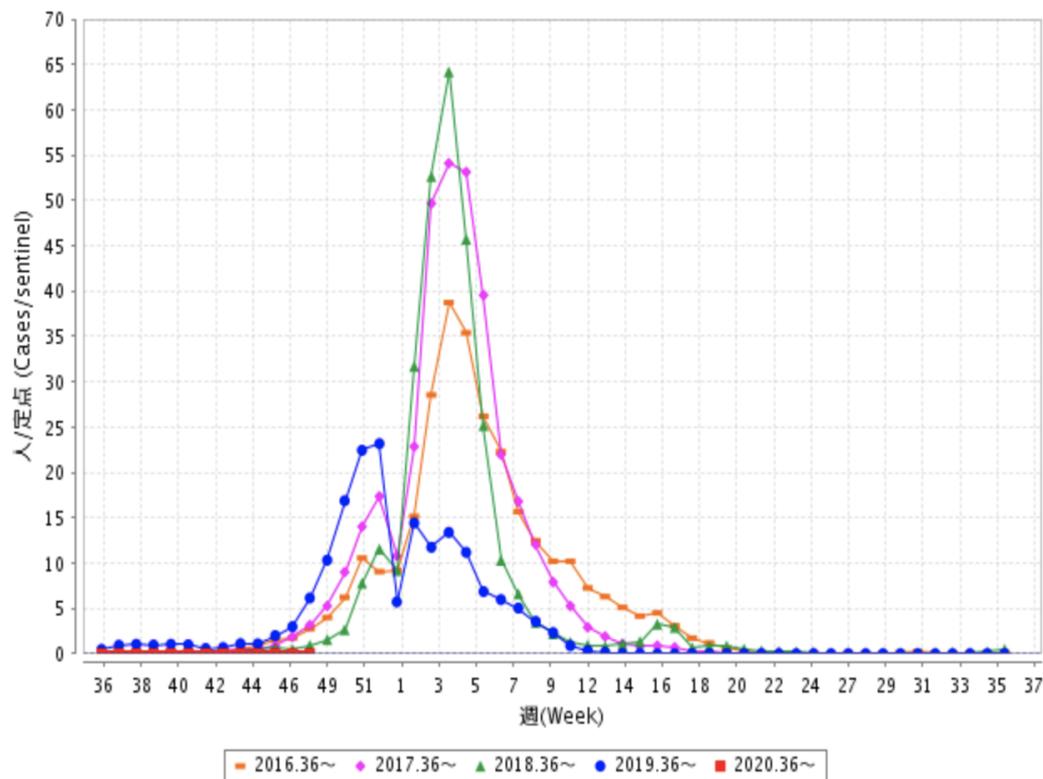
② 65,768件/日 ÷ 10 ⇒ **必要数：6,577施設**

(参考：都内の医療施設数（平成30年）)

- ・内科：病院（544）、診療所（8,056）
- ・小児科：病院（187）、診療所（2,529）

\*：2020年11月16日現在

1 定点医療機関当たり患者報告数 2020年11月29日(第48週)まで



©2002-2020 Tokyo Metropolitan Institute of Public Health

## 厚生労働省に報告のあった インフルエンザ患者数

	今年	昨年同時期
10月26日~ 11月1日	32	4682
11月2~8日	24	5084
9~15日	23	9107
16~22日	46	1万5390
8月31日~ 11月22日の合計	217 (人)	7万 886 (人)

(東京新聞12/6)

## 年末年始の診療・検査体制の確保支援事業

: 新型コロナウイルス感染症と季節性インフルエンザの同時流行に伴う  
発熱患者等の診療及び検査需要に対応するため、

指定を受けた『検査・診療医療機関』が年末年始においても

診療を継続する場合に、都が協力金を支給し、

年末年始の診療・検査体制を確保する事業

### 対象期間は12月29日から1月3日

全都的に多くの会員医療機関に

協力してもらうよう、地区医師会を通じて依頼中

日	月	火	水	木	金	土
						12/26
27	28 御用納 め	29	30	31	1/1 元日	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11 成人の 日					